

# 新聞摘要

(2004年7月17日~9月16日)

## 7月23日(星期五)

18名居住在三重县、滋贺县、京都府、大阪府以及奈良县的中国残留孤儿，23日向京都地方裁判所提出要求国家进行赔偿的索赔诉讼。至此，向同裁判所提起相同诉讼的原告总数，共计达到108人。

## 8月2日(星期一)

这一天，由居住在长野县的中国归国者及其家属组织发起的“中国归国者长野县联络会”，在县勤劳福祉中心召开了成立大会。

## 8月16日(星期一)

15日，为伸张反战精神及寻求解决归国者问题，600名居住在全国的中国归国者于东京都大田区召开集会，并在JR蒲田站附近举行游行示威。

## 8月30日(星期一)

两名居住在东京的中国残留孤儿以各地方政府所实施的、扣回残留孤儿前往中国探亲及赴丧期间所发放的生活保护费及等于因丈夫的交通事故而领取相当于赔款的生活保护费，属不正当行为为由，30日，向厚生劳动省提出对此重新进行审查的要求。

## 9月16日(星期四)

这一天，为了表彰“东京基督教女子青年会(YWCA)中国归国者日本語教室”自1981年以来，在东京都新宿区开办日语教室的同时，还实施生活商谈的功绩，每日新闻社会事业团决定向此组织颁发“第34回每日社会福祉奖”。此奖项每年表彰三个为促进福祉事业发展而鞠躬尽瘁的个人、以及各种团体中做出卓越贡献的组织。



# ニュース記事から

(2004年7月17日~9月16日)

## 7月23日(金)

三重県、滋賀県、京都府、大阪府及び奈良県在住の中国残留孤儿18人が23日、国家賠償訴訟を京都地裁に提訴。同地裁における同様の訴訟の原告数は合計108人となった。

## 8月2日(月)

長野県在住の中国帰国者とその家族による「中国帰国者長野県連絡会」の結成大会が1日、長野市の県勤劳福祉センターで開催された。

## 8月16日(月)

全国の中国帰国者約600人が15日、反戦や帰国者問題の解決を求めて、東京都大田区で集会を開くとともに、JR蒲田駅周辺をデモ行進した。

## 8月30日(月)

親族の見舞いや葬儀のため中国に里帰りした期間の生活保護費や、夫の交通事故で受け取った損害賠償金に相当する生活保護費について、各自治体が行った返還処分は不当として、東京都在住の中国残留孤儿2名が30日、厚生労働省に再審査請求を行った。

## 9月16日(木)

1981年から今日まで、東京都新宿区で日本語教室を開くとともに、生活相談などを行ってきた「東京基督教女子青年会(YWCA)中国帰国者日本語教室」に対して16日、「第34回毎日社会福祉顕彰」(毎日新聞社会事業団主催)が贈られることが決まった。同顕彰は、福祉の向上に尽くした個人、団体の中から優れた功績を上げているもの3件を毎年選び、表彰しているもの。